

4 北杜市次世代エネルギーパークの在り方に関する調査

4.1 市民アンケート調査

4.1.1 調査概要

市民を対象に、北杜市次世代エネルギーパーク構想に対する考えや新エネルギー等の利用状況等についてアンケート調査を実施しました。

調査対象者数は、性別・年齢・地域のバランスを考慮した無作為抽出による 1,500 名です。アンケート調査票の郵送発送・回収による自記入方式で、平成 21 年 10 月 28 日～11 月 6 日（締切り）に実施しました。有効回収票数は 424 票、有効回収率は約 28.3%でした。

4.1.2 調査結果

(1) 回答者の特性

性別は、「女性」57.5%、「男性」40.1%となっています。

年齢は、「40代」「50代」「60代」合わせて約6割となっていますが、「20代」「30代」の比較的若い層からも約1/4の回答を得ており、幅広い年代層から回答を得ています。

職業は、「会社員」「主婦」「パート」合わせて約7割を占めています。居住地では、市内8町全ての住民から回答を得ています（図4.1.2-1）。

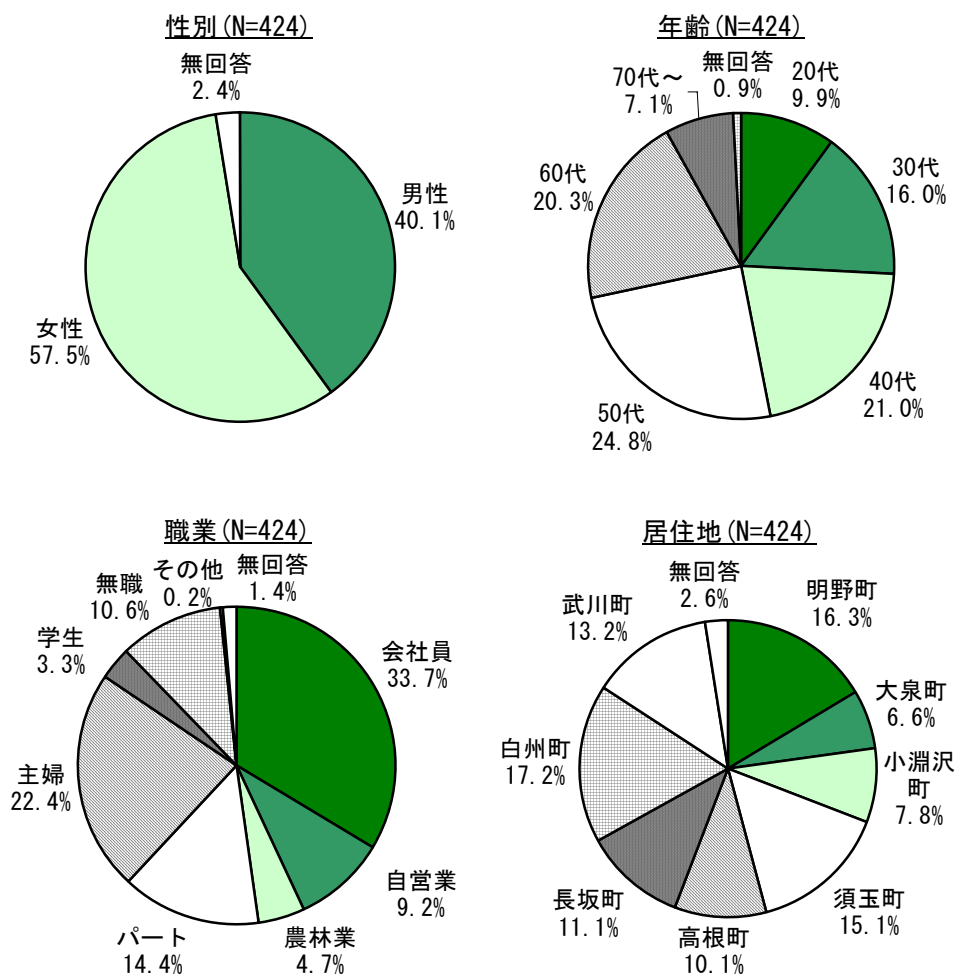


図 4.1.2-1 回答者の特性（性別・年齢・職業・居住地）

(2) 地球温暖化問題・新エネルギーの関心度

地球温暖化問題についての関心度（「非常に関心がある」「関心がある」合わせた数値）は、89.2%となっています（図 4.1.2-2）。

なお、平成 17 年 7 月に、内閣府において全国の 20 歳以上の男女 3,000 人を対象に実施された「地球温暖化対策に関する世論調査」では、「地球の温暖化、オゾン層の破壊、熱帯林の減少などの地球環境問題に関心がありますか」という質問に対して、関心度（「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた数値）は 87.1%となっています。

新エネルギーの関心度（「非常に関心がある」「関心がある」合わせた数値）は、82.5%となっており、地球温暖化問題の関心度と比較すると 6.7 ポイント下回っています（図 4.1.2-3）。

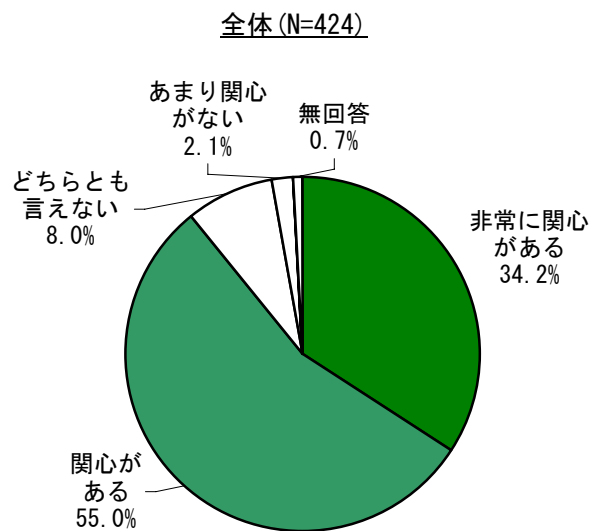


図 4.1.2-2 地球温暖化問題

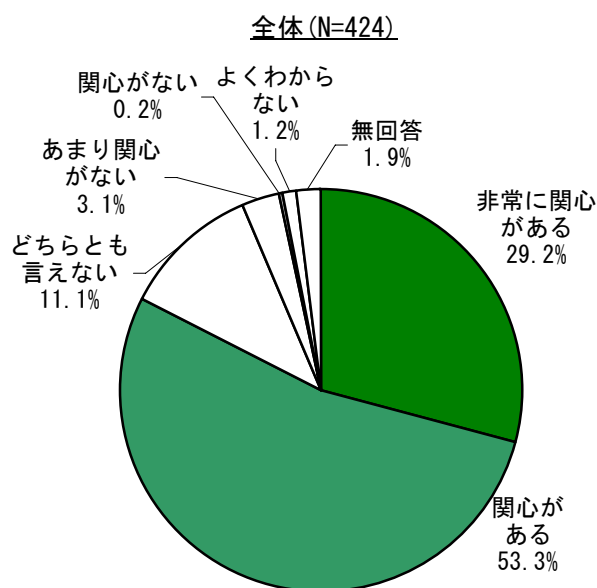
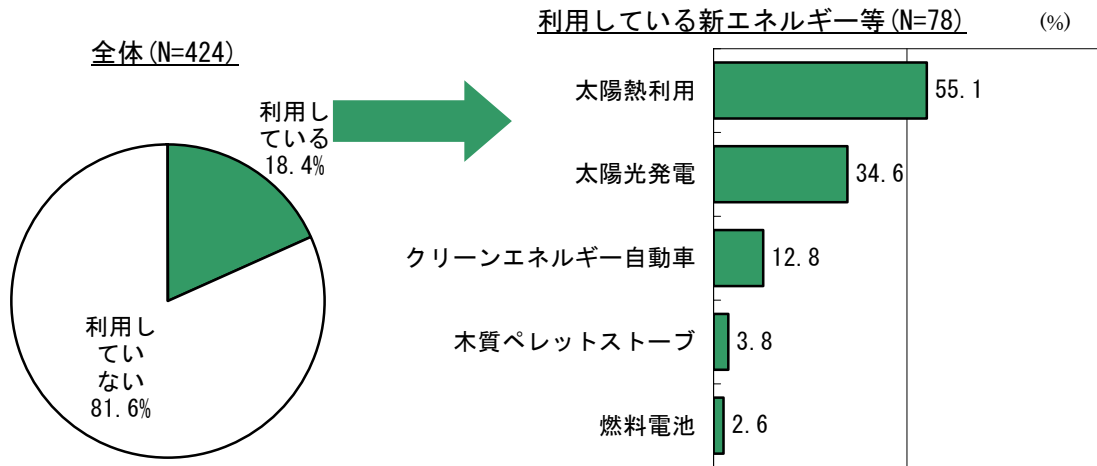


図 4.1.2-3 新エネルギーの関心度

(3) 新エネルギー等の利用状況

新エネルギー等の利用状況は、「利用している」が18.4%であり、利用している種類としては、「太陽熱利用」が55.1%で最も多く、次いで「太陽光発電」が34.6%、「クリーンエネルギー自動車」が12.8%となっています（図4.1.2-4）。

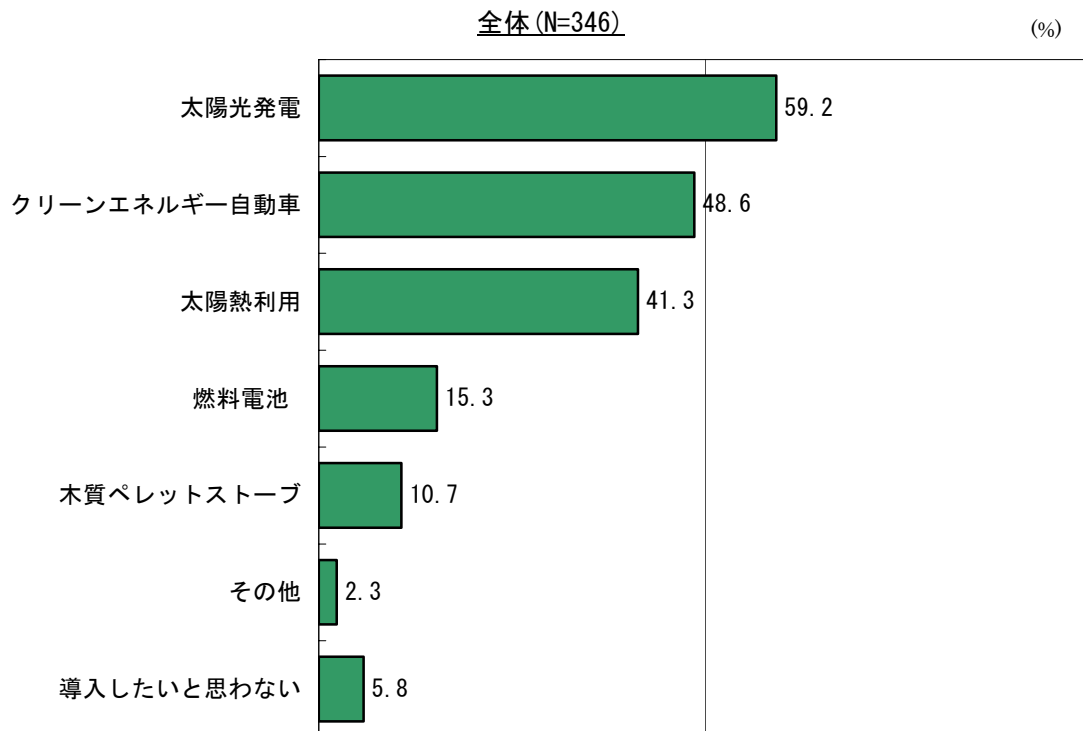


* 右図は、新エネルギー等を「利用している」と回答した人が対象。

図 4.1.2-4 新エネルギー等の利用状況

(4) 今後、導入したい新エネルギー等

今後、導入したい新エネルギー等は、「太陽光発電」が59.2%で最も高く、次いで「クリーンエネルギー自動車」が48.6%、「太陽熱利用」が41.3%となっています（図4.1.2-5）。



* 新エネルギー等を「利用していない」と回答した人が対象。

図 4.1.2-5 今後、導入したい新エネルギー等

(5) 「北杜市次世代エネルギーパーク構想」の推進について

北杜市の次世代エネルギーパーク構想への取組については、「積極的に取り組むべき」「ある程度積極的に取り組むべき」を合わせた積極的な取組への肯定的な意見が3/4以上を占めています（図4.1.2-6）。

今後、次世代エネルギーパーク構想を推進していくために必要な施策としては、「活動拠点の提供・整備」が39.7%で最も高く、次いで「学習機能の強化」が34.2%、「研究開発機能の強化」「情報発信機能の強化」が26.8%、「エコツーリズムの推進」が25.5%となっています（図4.1.2-7）。

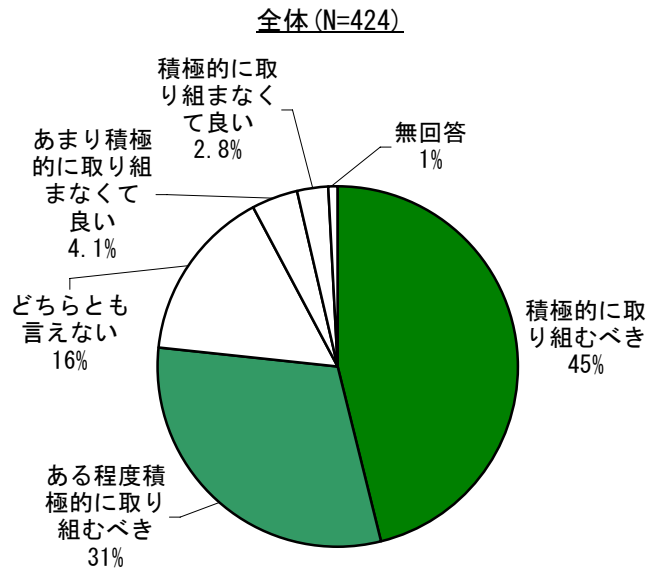
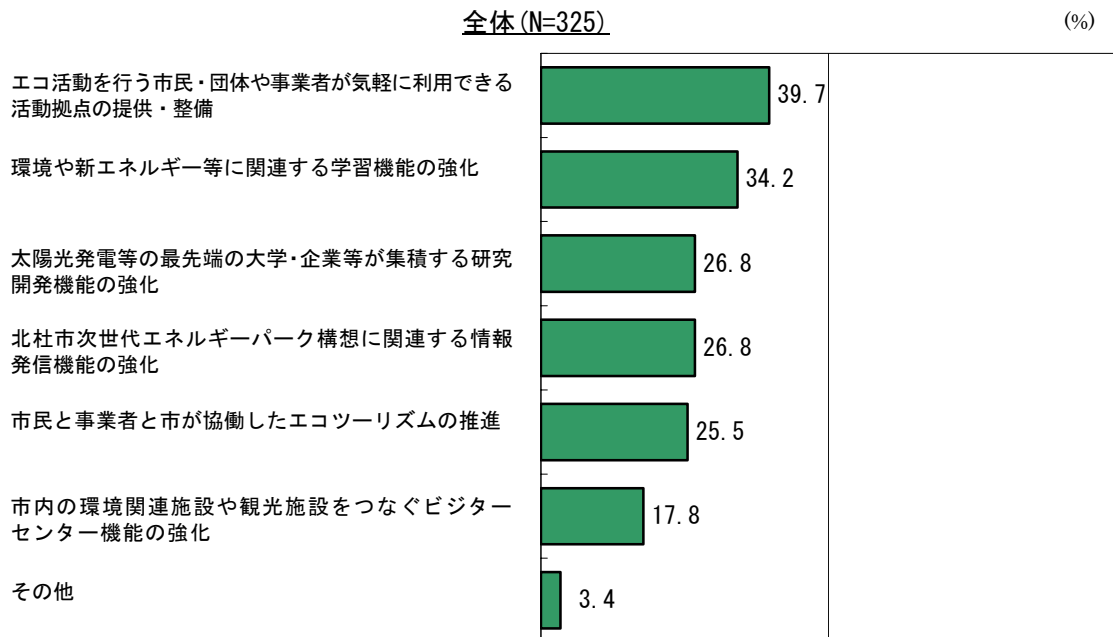


図 4.1.2-6 「北杜市次世代エネルギーパーク構想」の推進について



* 「積極的に・ある程度積極的に取り組むべき」と回答した人が対象。

図 4.1.2-7 「北杜市次世代エネルギーパーク構想」の推進時の優先事項

(6) 北杜市内のガイド付きエコツアーへの参加意向

市内のガイド付きエコツアーへの参加意向は、「参加してみたい」が34.9%となっています（図4.1.2-8）。

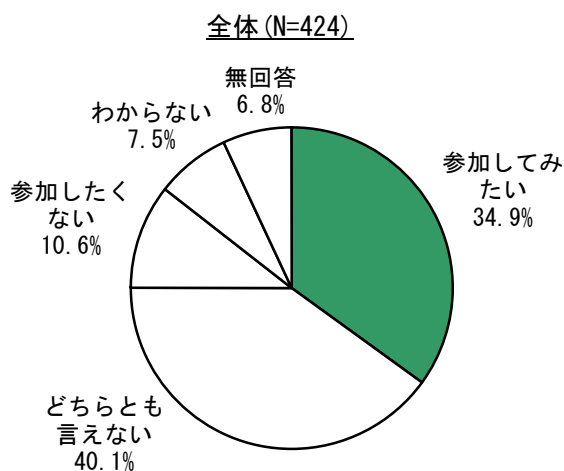


図 4.1.2-8 北杜市内のガイド付きエコツアーへの参加意向

(7) 北杜市でエコツアーを実施する場合に組み込んだ方がよい施設・ルート（自由回答）

北杜市でエコツアーを実施する場合に組み込んだ方がよい施設として、

- 八ヶ岳南麓（豊かな自然）、白州、尾白（水）、武川（お米）、明野（日照時間が日本一）、長坂（夏秋地区にある太陽光発電の施設、オオムラサキセンター）、須玉（ダム、水力発電）、小淵沢（ハイブリット車の電車、小海線）など [20代女性]
- 北杜市の大きな特徴は豊かな自然や素晴らしい山並み（残念ながら衰退しつつあるところの）、日照と気候、風土を生かした農業にあるので、新しく作られた観光施設だけではなく、地域に根ざしたもの [30代女性]
- 太陽光発電、太陽熱を利用した施設等を見学、研究開発している大学・企業の様子、取組を学び、エコ活動拠点のすばらしさを知る。 [50代女性]
- 明野、ひまわり畑と周辺の道路、高根、清泉寮、八ヶ岳道路、長坂、富士見坂 [40代男性]
- 太陽光発電などの地球に優しい「地球の癒し」と、人に優しい「人間の癒し」になる自然環境ツアーと組み合わせればより効果があるのではと思う。具体的には、太陽光発電のソーラーシステム見学研修と白州や武川地区の滝めぐりツアー [50代男性]

等の意見が挙げられています。

その一方で、エコツアーに対して慎重な意見（参考資料参照）も出されており、今後、北杜市次世代エネルギーパーク構想の意義等を、市民に対して幅広く情報発信し、より理解を深めてもらうことが重要です。

4.2 事業所・団体アンケート調査

4.2.1 調査概要

事業所・団体（NPO 法人等）を対象に、北杜市次世代エネルギーパーク構想に対する考えや新エネルギー等の利用状況等についてのアンケート調査を実施しました。

調査対象者数は、北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー協議会に所属する北杜市内に拠点を有する事業所や、環境教育等を行う団体等、合計 150 事業所・団体です。

アンケート調査票の郵送発送・回収による自記入方式で、平成 21 年 10 月 28 日～11 月 13 日（締切り）に実施しました。有効回収票数は 58 票、有効回収率は 38.7%でした。

4.2.2 調査結果

(1) 回答事業所・団体の特性

事業所・団体別では、「事業所」が 82.7%、「団体」が 12.1%です。回答事業所の業種は、「サービス業」が 41.6%で最も高く、第三次産業が約 6 割を占めています。また、市内 8 町全ての事業所から回答を得ています（図 4.2.2-1）。

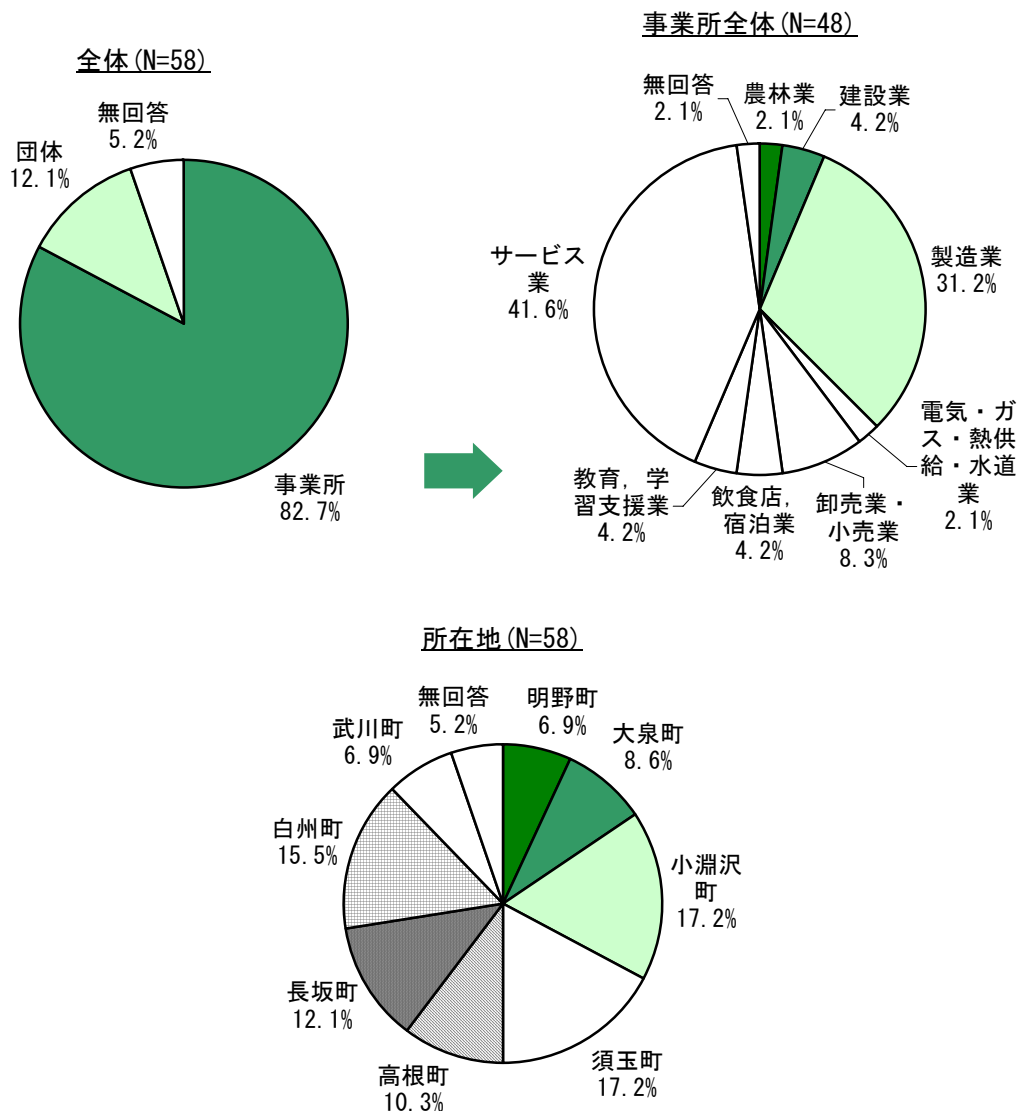


図 4.2.2-1 回答事業者・団体の特性

(2) 地球温暖化問題の関心度

地球温暖化問題についての関心度（「非常に関心がある」「関心がある」合わせた数値）は、88.0%となっており、市民アンケート調査における市民の地球温暖化問題への関心度とほぼ同等の水準となっています（図 4.2.2-2）。

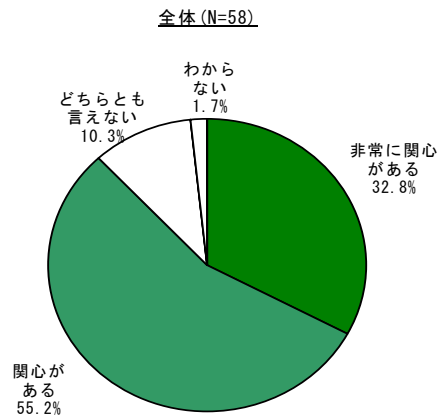


図 4.2.2-2 地球温暖化問題の関心度

(3) 新エネルギー等の導入状況・意向

新エネルギーの導入状況は、「既に導入している」「導入を検討中」「条件によっては導入したい」の全ての項目に関して「太陽光発電」が最も高くなっています。

また、「クリーンエネルギー自動車」は、「既に導入」は5.2%ですが、「条件によっては導入したい」が約4割を占め、太陽光発電に次いで、潜在的な需要が大きいことが伺えます（図 4.2.2-3）。

全体 (N=58) (%)

(種別)	既に導入	検討中	条件により	導入しない	わからない	無回答
太陽光発電	15.5	8.6	48.3	5.2	17.2	5.2
太陽熱利用	1.7	6.9	27.6	12.1	29.3	22.4
風力発電	1.7	25.9	31.0	24.1	17.2	
バイオマス発電		22.4	20.7	37.9	19.0	
バイオマス熱利用	1.7	24.1	19.0	36.2	19.0	
バイオマス燃料	1.7	21.5	22.4	36.2	19.0	
中小水力発電	5.2	17	25.9	22.4	29.3	15.5
クリーンエネルギー自動車	5.2	39.7	15.5	20.7	19.0	
天然ガスコージェネレーション		27.6	19.0	31.0	22.4	
燃料電池	1.7	24.1	22.4	29.3	22.4	

図 4.2.2-3 新エネルギー等の導入状況・意向

(4) 取り組んでいる環境対策・地球温暖化対策

取り組んでいる対策では、「温度調節」が63.8%で最も高く、次いで「クールビズの実施」が46.6%、「社員への環境教育の実施」が43.1%となっています（図4.2.2-4）。

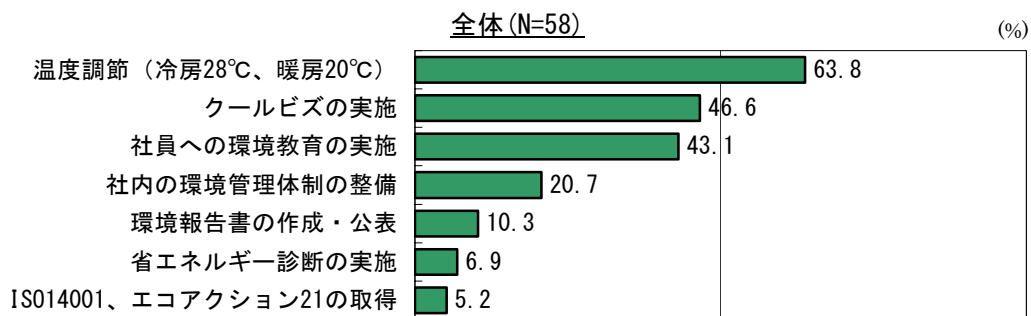


図4.2.2-4 取り組んでいる環境・地球温暖化対策

(5) 「北杜市次世代エネルギーパーク構想」の推進について

北杜市の次世代エネルギーパーク構想への取組については、「積極的に取り組むべき」「ある程度積極的に取り組むべき」を合わせた積極的な取組への肯定的な意見が8割以上を占めています（図4.2.2-5）。

今後、次世代エネルギーパーク構想を推進していくために必要な施策としては、「情報発信機能の強化」が47.9%で最も高く、次いで「エコツーリズムの推進」が41.7%、「学習機能の強化」が35.4%となっています（図4.2.2-6）。

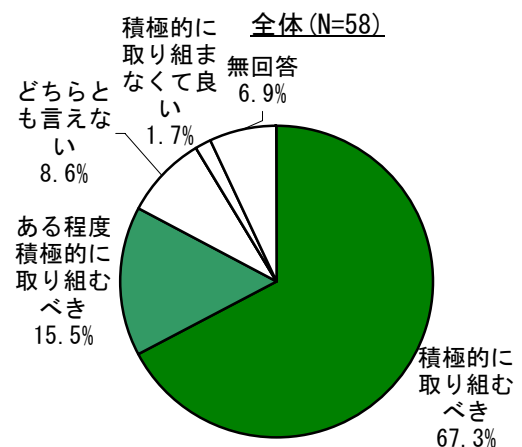
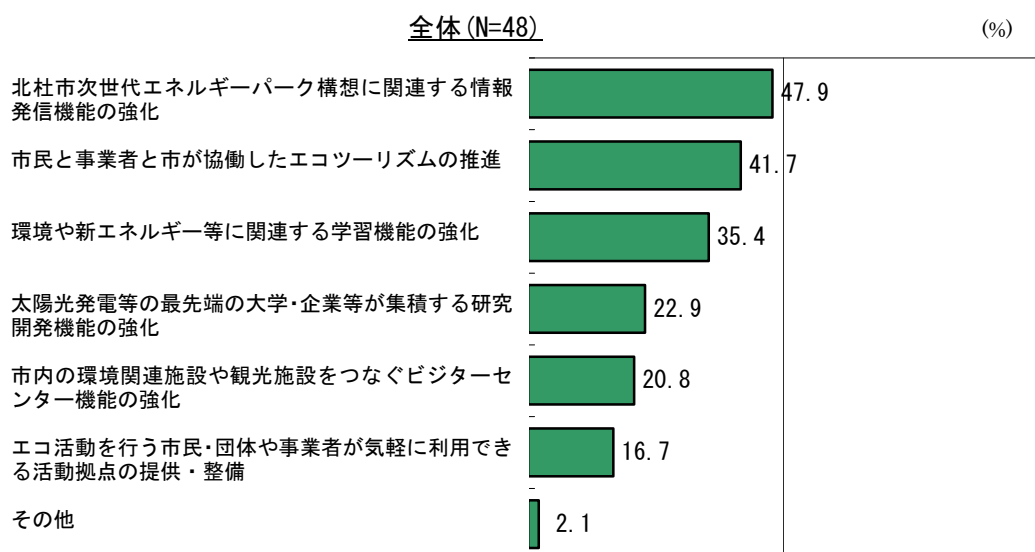


図4.2.2-5 「北杜市次世代エネルギーパーク構想」の推進について



* 「積極的に・ある程度積極的に取り組むべき」と回答した事業所・団体が対象。

図4.2.2-6 「北杜市次世代エネルギーパーク構想」の推進時の優先事項

(6) 北杜市でエコツアーを実施する場合に組み込んだ方が良い施設・ルート（自由回答）

北杜市でエコツアーを実施する場合に組み込んだ方が良い施設として、

- 地球温暖化の対策は、エネルギーCO₂の発生抑制の方向だけでなく、農林業の振興によるCO₂の削減方向があると考えている。エコツアーでは農業体験を含む農業振興につながるものが適当と思う。〔製造業〕
- オオムラサキセンター→八ヶ岳薬用植物園→サントリー天然水工場→尾白川溪谷と尾白の森散策〔卸売・小売業〕
- 太陽光発電（長坂）、ダム、三分一湧水、湧水めぐり〔サービス業〕
- 滞在型を目指し、体験型や参加型の基盤を整えていることから、今後の北杜市の観光のテーマは「教育（学ぶ）」という言葉でまとめられるのではないかと
〔教育・学習業〕

等の意見が挙げられています。

(7) 「北杜市次世代エネルギーパーク構想」への参加可能性

「北杜市次世代エネルギーパーク構想」への参加可能性については、「参加可能性がある」が46.6%となっており（図4.2.2-7）、「見学者の受け入れ」「エコツアーの企画等」「環境・エネルギー教育の支援」「寄付」等、様々な側面から参加が可能であるという意見が挙げられています。

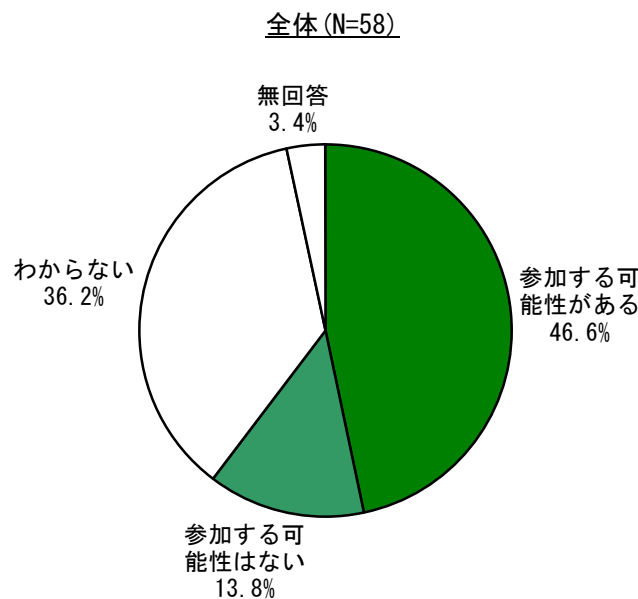


図 4.2.2-7 「北杜市次世代エネルギーパーク構想」への参加可能性

4.3 事業所・団体ヒアリング調査

市内において、積極的に新エネルギー導入・省エネルギー活動や、環境教育を行っている8事業所・団体（NPO法人等）を対象に、ヒアリング調査を実施しました。

(1) 北杜市で考えられるエコツアー・モデルコースのテーマ・主要スポット

提案されているテーマとしては、

- 森林整備・環境整備等を含めた体験型
- 次世代エネルギーパーク構想の素材となる施設を巡るツアー
- 景観・自然の魅力・エネルギー活用の実感型
- 太陽光発電等を利用した充電設備とアシストバイク等を利用したエコツアー等の意見が挙げられています。

また、県外・市外の観光客をターゲットにするだけでなく、「市内の人が元気になれる場所」であることの重要性が指摘されています。

さらに、体験型のツアー・メニューを実施する際には、「体験内容と伝えたいメッセージのバランス」を十分に取る必要があることが指摘されています。

なお、北杜市で考えられるエコツアー・モデルコースのテーマや主要スポットを実際に決めていく際には、「誰かが一方的に決めるものではなく、ワークショップ方式で、色々な人とのかかわりの中で作っていくことが重要」という意見が挙げられています。

(2) 実証試験終了後の北杜サイトの利用展開イメージ

NEDO北杜サイトの利用展開としては、

- 森林や小水力発電等との連携
- 小さな体験から、大きな話しにつなげていくプログラムの実施
- 原理を理解させるための体験型プログラムとの連携
- 生活密着型・家庭での普及と連携させた取組
- 企業向けに太陽エネルギーの実験施設としての提供
- 太陽光発電や小水力発電等、スマートグリッドの社会実験施設としての提供等の意見が挙げられています。

(4) 北杜市次世代エネルギーパーク構想の実現に向けた課題

北杜市次世代エネルギーパーク構想の実現に向けた課題としては、

- リトリートの杜等との連携による推進
 - 指導者（人材）育成
 - 大目標に向かって各団体が主体的に取り組むことができる体制の整備
 - 事務局の設置
 - 消費側のニーズを取り入れたマーケティングの発想（女性の活用を含む）
 - 大人の考え方・価値観を変えていく啓発活動の実施
 - 企業との連携を深めるための機能強化
- 等の意見が挙げられています。

4.4 観光客アンケート調査

4.4.1 調査概要

市内の観光施設・宿泊施設等、16箇所に協力をお願いし、留め置きによる自記入方式により、観光客アンケート調査を実施しました。1箇所につき、30票の調査票を配布しました。

平成21年10月28日～11月20日（締切り）に実施しました。有効回収票数は136票でした。

4.4.2 調査結果

(1) 回答者の特性

性別は、「女性」51.4%、「男性」47.1%となっています。年齢は、「50代」「60代」「70代～」が多く合わせて約7割となっています。職業は、「会社員」「主婦」「無職」合わせて約7割を占めています。居住地は、「県外」が約7割を占めています（図4.4.2-1）。

なお、国内旅行の頻度として、日帰り旅行の年間平均回数は約6.4回、宿泊旅行の年間平均回数は約3.9回となっています。

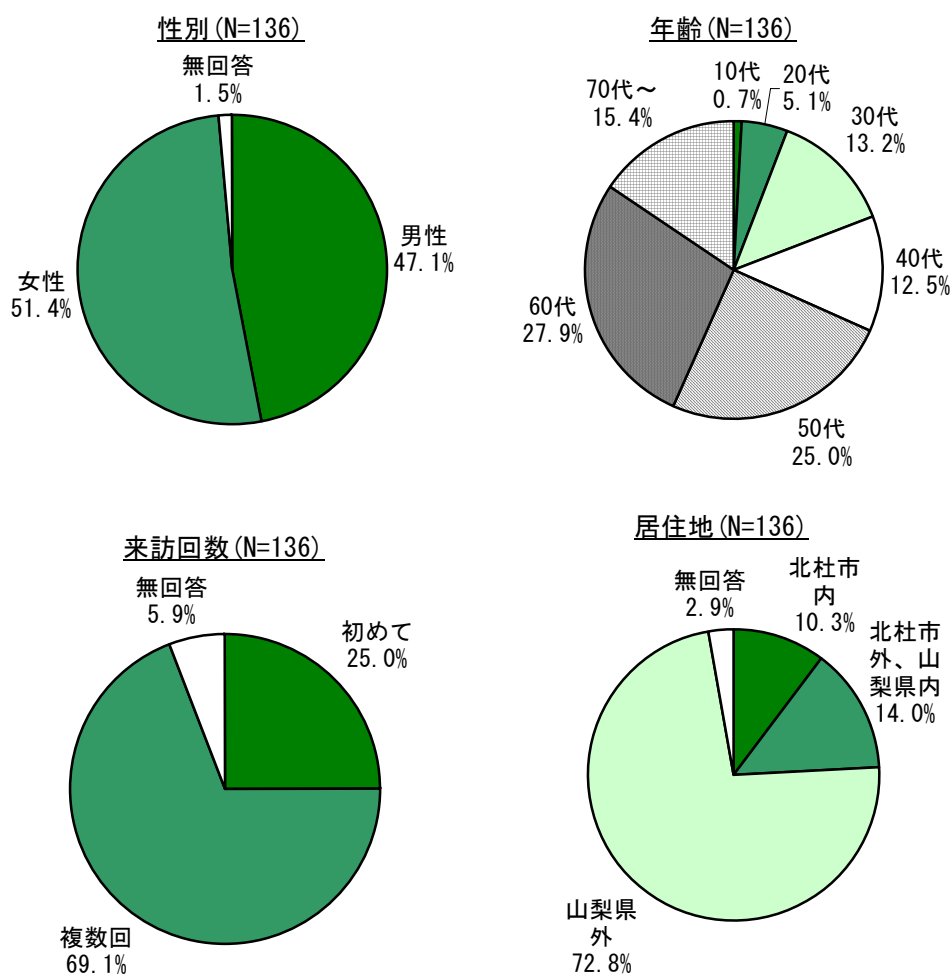


図 4.4.2-1 回答者の特性（性別・年齢・職業・居住地）

(2) 今回の北杜市への来訪について

北杜市への来訪については、来訪回数は「複数回」が約7割を占めています。「日帰り」「宿泊」別では、ほぼ半々となっています。同伴者は、「配偶者・家族」が54.4%を占めています。交通手段は、「車」が66.9%を占めています。

来訪意向は、「また来てみたい」が85.4%を占めています（図4.4.2-2）。

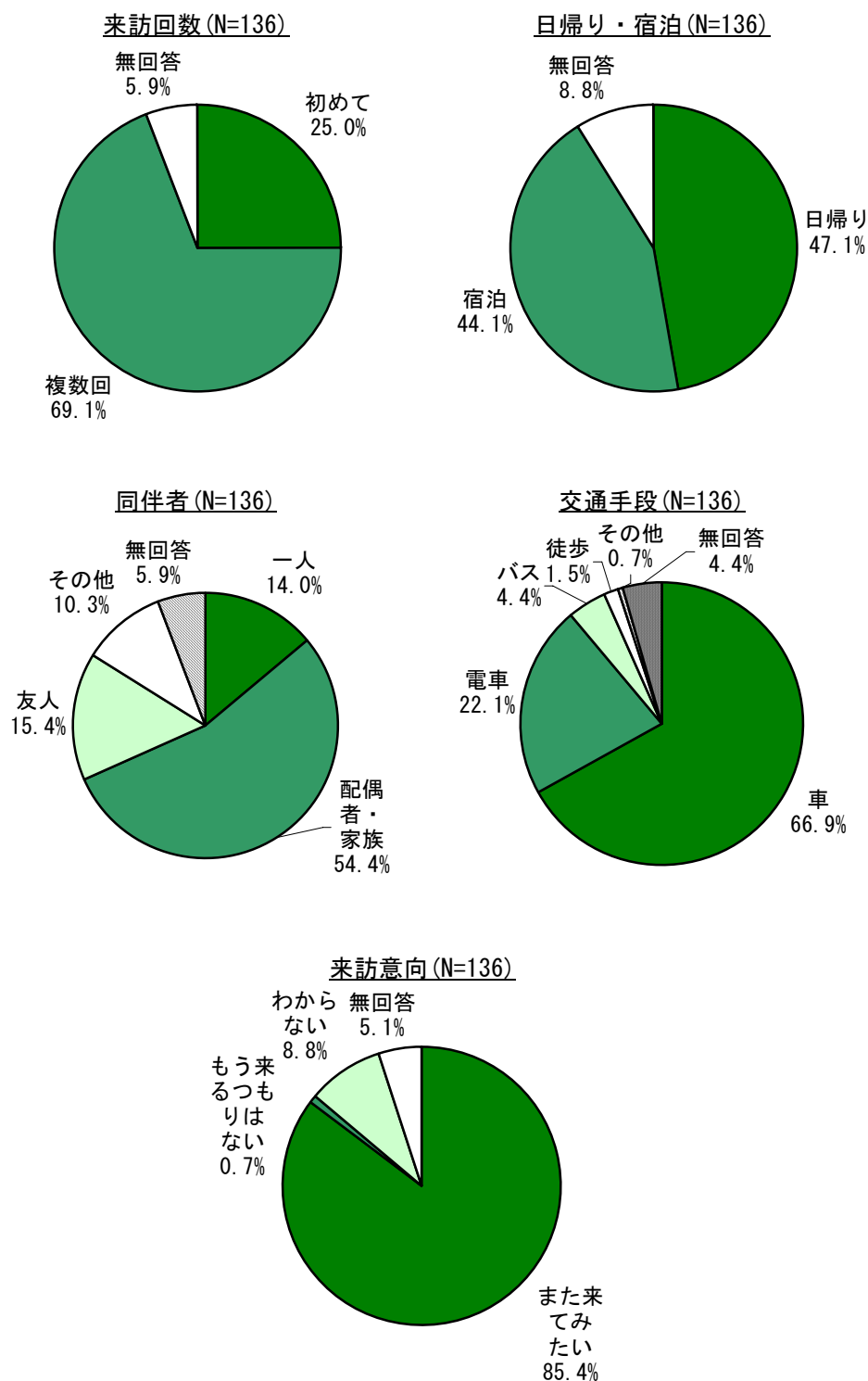


図 4.4.2-2 今回の北杜市への来訪について

(3) どのようなタイプの旅行をすることが多いか

頻度が高い旅行タイプとしては、「自然景観や風景を見てまわる旅行」(64.0%)、「保養・休養・温泉浴の旅行」(45.6%)、「自然に囲まれてのんびりする旅行」(30.9%)が上位に挙げられています(図4.4.2-3)。

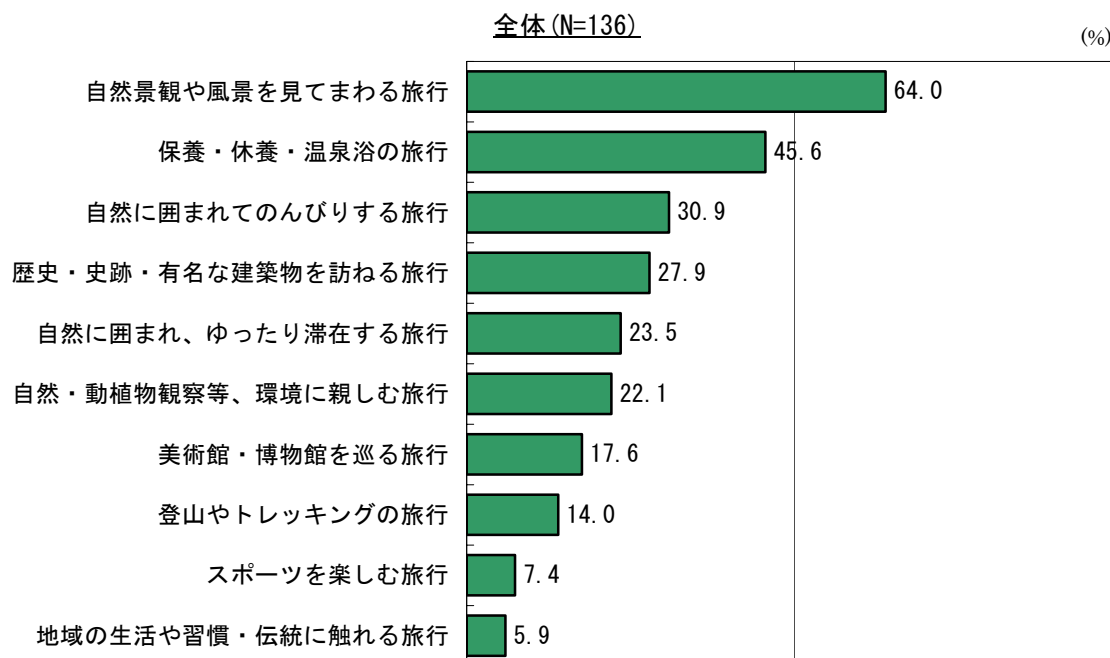


図4.4.2-3 どのようなタイプの旅行をすることが多いか

(4) 旅行先を決める際に重視する項目

旅行先を決める際の重視項目としては、「自然環境」(24.3%)や「温泉の有無」(22.8%)が上位に挙げられています(図4.4.2-4)。

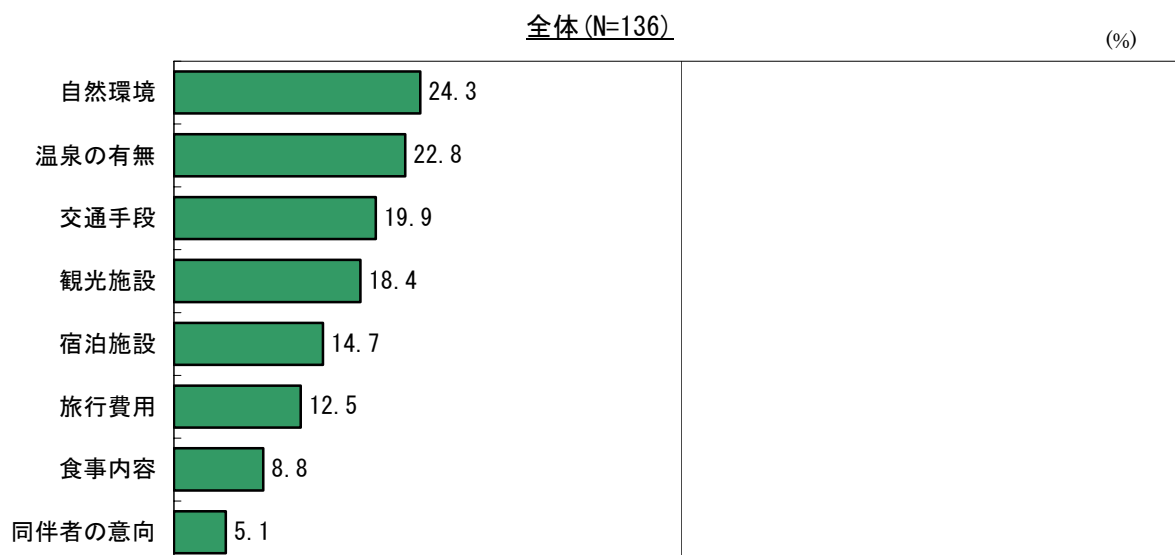


図4.4.2-4 旅行先を決める際に重視する項目

(5) エコツアー（ガイド付き）について

① 関心度・参加経験

エコツアー（ガイド付き）に対する関心度は44.1%である一方、実際の参加経験は「ある」が12.5%にとどまっています（図4.4.2-5）。

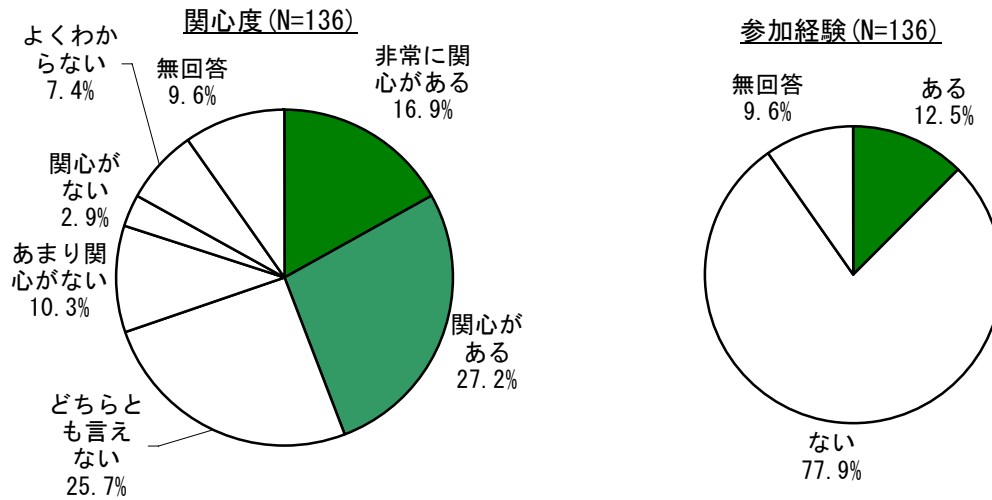


図4.4.2-5 エコツアー（ガイド付き）の関心度・参加経験

② 参加意向・限度額

エコツアー（ガイド付き）への参加意向は、「参加したいと思う」が44.9%で、「参加したいと思わない」（11.0%）を上回っています。また、限度額としては、日帰り旅行の場合は「3,001円～5,000円」（34.4%）、宿泊（1泊2日）の場合は「10,001円～30,000円」（52.5%）の価格帯が最も高くなっています（図4.4.2-6）。

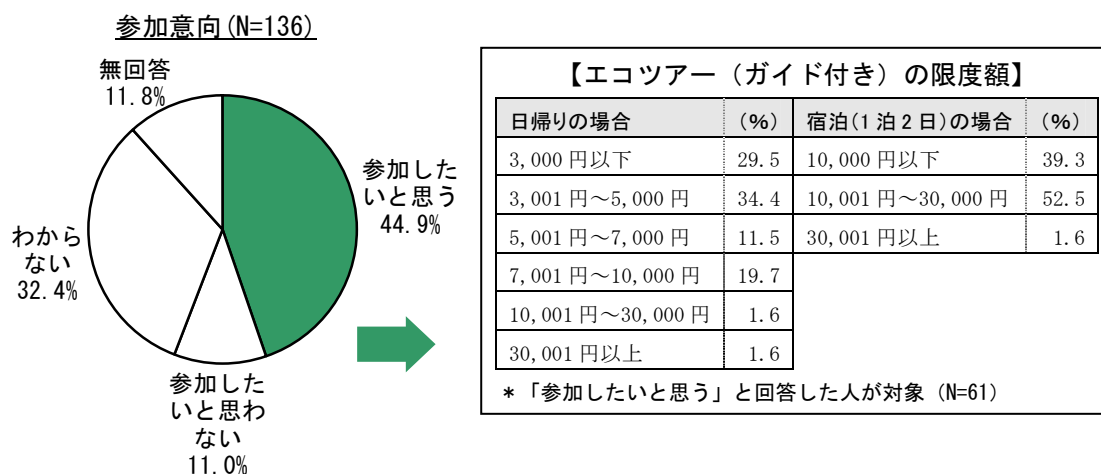


図4.4.2-6 エコツアー（ガイド付き）の参加意向・限度額

(6) 北杜市内で好きな場所・行ってみたいスポット（自由回答）

アンケート調査時期が期間限定であり、参考情報ではありますが、市内の好きな場所・スポットとしては、清里、白州、スパティオ小淵沢、リゾナーレ、八ヶ岳リゾートアウトレット等が挙げられています。

4.5 アンケート・ヒアリング調査結果から見た今後の課題

アンケート調査及びヒアリング調査結果から、今後の課題として、以下の項目に整理できます。

- 北杜市次世代エネルギーパーク構想の意義等に関する情報発信と理解促進
- 長期滞在型リゾートの杜等、観光や環境面での他の取組との関係
- 次世代エネルギーパーク構想の実施に向けた運営体制の構築
- エネルギー環境教育のインタープリターの育成
- 地域密着型・生活密着型の取組とするための仕組みづくり
- 特定地域に偏重しない全市域での取組の推進